

サポートルーム「すなはま」の学び合い活動

鳥取城講座

令和7年5月14(水)

太閤ヶ平ハイキングに備えて、国指定の史跡「鳥取城跡附太閤ヶ平」の学習に取り組みました。その時の様子を御紹介します。



解説は、鳥取市教育委員会文化財課の文化財専門員細田さんです。



太閤ヶ平は、久松山の東1.5キロにある本陣山の山頂に広がる広大な本陣の跡地です。



織田信長の家臣であった羽柴秀吉は、鳥取城の兵糧攻めに備えて、大規模な土塁と空堀をここに築き、大防衛ラインを完成させました。



現在は、鳥取城跡の長期復元計画が鳥取市によって進められていて、中ノ御門の内側に二階建ての渡櫓門（わたりやぐらもん）が完成しました。



細田さんには、解説に対する質問も受けってもらい、鳥取城にまつわる理解をさらに深めることができました。



こちらが太閤ヶ平から見た久松山の南東斜面です。この辺一帯に広大な城郭が広がっていたんですね。細田さん、ありがとうございました。